



Newsletter No. 26

Maxillofacial Prosthetics

発行人 鱒見進一

編集 広報委員会

事務局 〒135-0033 東京都江東区深川 2-4-11 一ツ橋印刷(株) 学会事務センター内

Tel : 03-5620-1953 Fax : 03-5620-1960

E-mail : max-service@onebridge.co.jp

第 35 回総会・学術大会案内



大会長 松山 美和
(徳島大学大学院)

会 期：平成 30 年 6 月 28 日(木)～30 日(土)

会 場：徳島大学 大塚講堂

(徳島市蔵本町 3-18-15)

事務局：徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔機能
管理学分野

このたび、一般社団法人日本顎顔面補綴学会第 35 回総会・学術大会を当教室が担当させていただきますことになりました。徳島での研究会・学術大会は過去を遡りますと、1982 年第 23 回研究会、1996 年第 16 回大会、2006 年第 23 回大会と三度開催されており、今回第 35 回大会が四度目となります。当分野は歯科衛生士養成の大学教育と大学院教育を担う教員わずか 2 名の教室ですが、過去の大会以上のおもてなしができるよう、渡辺朱理準備委員長と 2 人 3 脚で日々奮闘

準備いたしております。

さて、私が本学会学術大会に最初に参加したのは 1997 年第 14 回大会でした。他の学会とは異なる熱い、いえ熱過ぎる討議に驚愕しましたが、その根底にあるものは患者に対する医療人としての熱い想いと気付かされました。第一世代から脈々と受け継がれてきた熱い想いに加え、第 35 回大会は最新の医療技術や医療材料などの情報発信・意見交換の場になる会にしたいと考えます。基調講演、特別シンポジウム、教育講演、一般口演、ポスター発表やランチョンセミナーに加え、特別企画として患者団体からの情報発信の場も設けました。私が 2007 年の第 12 回教育研修会で紹介しました口腔がん患者の会から、2 名の口腔がんサバイバーの方にお話しいただきます。

会場となる徳島大学蔵本キャンパスの裏には、映画のタイトルにもなりました徳島のシンボル「眉山(びさん)」があります。6 月末といえば梅雨の最中ではありますが、雨に濡れた緑深い眉山に見守られながら第 35 回総会・学術大会にて熱い時間を共有いたしましょう。徳島の地にて、みなさまのお越しを心よりお待ち申し上げます。



徳島のシンボル、眉山と吉野川

第34回総会・学術大会報告

平成29年6月1日(木)～3日(土), 全電通労働会館 全電通ホールにて, 米原啓之大会長(日本大学)のもと, 日本顎顔面補綴学会 第34回総会・学術大会が開催された。

2日には基調講演が, 3日には特別講演と第22回教育研修会, 若手研究者短期海外研修報告会が行われ, 2日間で一般口演23題, ポスター発表13題, 認定医ケースプレゼンテーション3名6題が発表された。また, 33回大会に引き続き, ポスター発表に付随した poster shotgun も行われた。



poster shotgun 風景

基調講演



日本大学歯学部附属病院 における顎顔面補綴科

石上 友彦 先生(左写真)

日本大学歯学部
歯科補綴学第Ⅱ講座 教授

石上先生の講演は, まず日本顎顔面補綴学会の特徴である活発な討論について触れられた。口腔外科, 補綴科, 摂食機能療法科と歯科衛生士, 歯科技工士のメンバーから構成される日本大学の顎顔面補綴科のチームアプローチについて, 週1回のキャンサーボードの実施, 手術前からの補綴科医のアプローチ, 摂食機能療法科医による入院中の摂食・嚥下訓練, 外来での顎義歯の製作, 歯科衛生士によるメンテナンスについて, 症例を交えながら取り組みをご説明され, うまくチームの連携が行われていることについて今後の顎顔面

補綴のチームアプローチに希望が持てる講演となった。そして口腔外科と補綴科の連携の上では話し合いが大切であると述べられた。

最後に, すべての顎顔面欠損患者のためにこれからしなくてはいけないこととして, 質の向上, 治療の標準化, 複合症例へのチームでの挑戦, 認知度の向上といった顎顔面補綴の課題を提示され, 若い第三世代へのエールをいただき, 会員一同大変感銘を受けた。

(広報委員 大木明子)

特別講演

再生技術を用いた近未来 の再建および細胞治療

高戸 毅 先生(右写真)

東京大学大学院
医学系研究科



高戸先生は形成外科の臨床医として数々の病院でご研鑽を積まれ, 東京大学にお戻りになってからは大学院医学系研究科外科学専攻感覚・運動機能医学講座口腔顎顔面外科学の教授の傍ら, 同ティッシュエンジニアリング部部长として再生医療の研究に深く携わってこられた。本講演では, 再生医療の歴史から, iPS細胞の解説, また再生医療の法整備の問題まで, 幅広く, そして大変わかりやすくご講演をいただいた。

特に, 先生のご専門である, 骨軟骨再生医療の原理や展開, インプラント型再生軟骨の開発, 臨床応用についても広く解説していただいた。本学会の会員にとっては大変興味深い分野である, 顎骨再生や再生皮膚の口唇口蓋裂症例や腫瘍症例への応用の可能性, 3Dバイオプリンタを用いた再生医療や, iPS細胞から軟骨細胞を作り, 小耳症症例において耳を再生する手法など, 先生の長年の研究成果から非常に多岐にわたる内容を紹介していただき, 近未来に再生技術が臨床応用されることを実感できる講演であった。講演の最後には大会長より感謝状が贈呈された。

(広報委員 吉岡 文)

第22回教育研修会

テーマ：顎顔面補綴における多職種連携

1. リハビリテーションを視点とした言語聴覚士と歯科領域との連携

西脇 恵子 先生（日本歯科大学附属病院）

2. 日本大学歯学部附属歯科病院における頭頸部腫瘍に対するチームアプローチ

生木 俊輔 先生（日本大学歯学部）

3. 大学病院における多職種連携を考える

小山 重人 先生（東北大学病院歯科部門）

詳細は次号の雑誌に総説として掲載されますので、ご参照ください。



左から講師の西脇先生、生木先生、小山先生

関連学会報告

第23回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会

2017年9月15日、16日の2日間、「広げよう！つなげよう！摂食嚥下リハビリテーションの輪」のテーマのもと、市村久美子先生（茨城県立医療大学保健医療学部看護学科）を大会長として、千葉市、幕張メッセで第23回日本摂食嚥下リハビリテーション学会が開催された。会員数11,000名を超える本学会であるが、参加者7,000名超、口演発表328題、ポスター発表351題、抄録集680ページの非常に大規模な学会であった。

基礎、栄養、看護、訓練、各種疾患別、小児、高齢者等、多岐にわたるセッションがあり、普段、直接的なかわりがない職種の発表を聞けることも、本学会の醍醐味の1つで、日常臨床の疑問を解決するためのヒントや、新たな興味を得ることができ、宝探しのような学会である。恐らく今

大会が初めてだと思われるが、「終末期」というセッションが設けられ、5演題中2演題が終末期の頭頸部癌患者の摂食・嚥下に関する発表であった。われわれの学会員が日常診療を行う多くは、通院ができる方であり、癌の再発や転移等により通院ができなくなった後の患者さんに対するフォローは、正直なところ多くはなされていないのが現状ではないだろうか？さらに、終末期をどのような状態で迎え、どのような問題を抱えているかを、われわれは知ることさえも少ないと思われる。通院可能なある意味「元気な」患者さんのみならず、通院不可能となり在宅や施設で口腔機能障害を抱える患者さんへの対応、頭頸部癌患者の終末期までの口腔機能に対するサポートや連携の必要性についても考えさせられた。

来年は、2018年9月8日から仙台で開催される予定であり、2019年はWorld Dysphagia SummitとしてアメリカのDysphagia SocietyとヨーロッパのEuropean Society for Swallowing Disorders (ESSD) との共催の予定である。

（広報委員 中島純子）



満席状態の第1会場

関連学会のご案内

●第36回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会

日程：2018年1月25日（木）～26日（金）

大会長：林 孝文（新潟大学大学院）

会場：新潟グランドホテル

問合せ：(株)アド・メディック内

js0036@admedic.jp

<http://www.admedic.jp/js0036/index.html>

●第28回日本頭頸部外科学会総会ならびに学術講演会

日程：2018年1月25日（木）～26日（金）

大会長：春名眞一（獨協医科大学）



Newsletter No. 26

Maxillofacial Prosthetics

会 場：栃木県総合文化センター

問合せ：(株)協同コンベンションサービス

hns28@kyodo-cs.com

<http://www.hns.umin.jp/28th/>

●第 41 回日本嚥下医学会総会ならびに学術講演会

日 程：2018 年 2 月 9 日（金）～ 10 日（土）

大会長：香取幸夫（東北大学大学院）

会 場：イズミティ 21（仙台市泉文化創造センター）

問合せ：東北大学大学院医学系研究科耳鼻咽

喉・頭頸部外科学分野

ssdj2018@orl.med.tohoku.ac.jp

<http://www.orl.med.tohoku.ac.jp/ssdj2018/index.html>

●第 72 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会

日 程：2018 年 5 月 11 日（金）～ 13 日（日）

大会長：有地榮一郎（愛知学院大学）

会 場：ウインクあいち（愛知県産業労働センター）

問合せ：(株)コングレ 中部支社

jss72@congre.co.jp

<http://www.congre.co.jp/jss72/index.html>

●第 42 回日本口蓋裂学会総会・学術集会

日 程：2018 年 5 月 24 日（木）～ 25 日（金）

大会長：楠本健司（関西医科大学）

会 場：大阪市中央公会堂

問合せ：(株)アカデミック・ブレインズ

jcpa42@academicbrains.jp

<http://jcpa42.umin.jp/>

●第 42 回日本頭頸部癌学会

日 程：2018 年 6 月 14 日（木）～ 15 日（金）

大会長：林 隆一（国立がん研究センター東病院）

会 場：京王プラザホテル

問合せ：(株)プロコムインターナショナル

jshnc42@procomu.jp

<http://www.procomu.jp/jshnc2018/>

●（一社）日本老年歯科医学会第 29 回学術大会

日 程：2018 年 6 月 22 日（金）～ 23 日（土）

大会長：佐藤裕二（昭和大学）

会 場：きゅりあん（品川区立総合区民会館）

問合せ：(株)日本旅行 ECP 営業部

gero_29@nta.co.jp

<http://web.apollon.nta.co.jp/gero29/>

●第 19 回日本言語聴覚学会

日 程：2018 年 6 月 22 日（金）～ 23 日（土）

大会長：中野 徹（日本赤十字社富山赤十字病院）

会 場：富山県民会館／富山国際会議場

問合せ：(株)コングレ九州支社

jaslht2018@congre.co.jp

<http://www.congre.co.jp/jaslht2018/>

コンテンツ

第 35 回学術大会案内	1
第 34 回学術大会報告	2
関連学会報告	3
関連学会のご案内	3

皆様のご意見をお寄せください。

一般社団法人日本顎顔面補綴学会広報委員会

委員長 松山美和

委 員 大木明子, 関谷秀樹, 中島純子,

堀 一浩, 宮本哲郎, 吉岡 文

E-mail: max-service@onebridge.co.jp